

氏名： 申 琪榮
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系／ジェンダー研究センター
職名： 准教授
学位： 政治学博士 (University of Washington, U.S.A.)
専門分野： 政治学 (Political Science) ／ Gender Studies
E-mail：

◆研究キーワード / Keywords

ジェンダーと政治／フェミニズム理論／日韓比較政治／女性運動／男女平等法政策
Gender and Politics / Feminist Theory / Comparative Politics of Japan and Korea / Womens
Movement, Feminist Movement / Gender Mainstreaming Policy and Laws

◆主要業績

総数 (3) 件

- ・申・キヨン, 2009「超国家移住と多文化社会の国籍：フィリピン女性の日本への移住と国際婚外子の国籍問題を手掛かりに」『日本研究論叢』30号 (韓国語)
- ・申琪榮, 2009「女性センターの未来を提案する」『女たちの21世紀』60号 36-39頁
- ・申・キヨン, 2009「日本社会分野」『未来研究』韓国行政研究院委託 (韓国語)

◆研究内容 / Research Pursuits

通常の研究に関しては、研究キーワードを参考にしてください。加えて2008年後期からは本学の文部科学省委託研究「ジェンダー・格差センシティブな働き方と生活の調和」に参加し、最近の日本のワーク・ライフ・バランスに関する政策取り組みに関して研究している。また、2010年度からは科学研究プロジェクト(基盤研究B)「政権交代と社会運動」に参加している。

◆教育内容 / Educational Pursuits

博士前期：

フェミニズム理論の争点／演習 (Issues of Feminist Theories)

ジェンダー立法過程論 (Gender and Policy Making Process)

国際社会ジェンダー論 (International Societies and Gender)

開発ジェンダー論特論 (Special Seminar on Development and Gender)

◆研究計画

これまで行ってきた日韓の女性運動／社会運動の比較研究に基づいて、最近の政治・社会の構造変化に伴う新しい社会運動の展開の解明と理論化を進めていきたい。さらに、グローバル化による国家・社会関係の変化やフェミニズム理論に沿った新しいシティズンシップの理論化を探る研究に取り組んでいきたい。そのために、国際または国内共同研究は多角的に検討している。